

## 編集後記

「編集後記」のタイトルから、関わった編集作業の「あとがき」を書こうと考えましたが、その作業を巧くこなしていないことは明白で、取りまとめ責任者・他の編集委員の方々に負担を掛けてしまっているとしたら、「あとがき」の内容を思い浮かびません。編集委員の方々は、私よりも1世代若い方が多く、同世代の方々が携わってこられた学会の活動にこれまで参加してこなかったことを痛感しています。これまで1年の間に委員会に参加できたのは、2～3回程度で、遅まきながら参加した委員会でも役割を果たせていない状況ですが、一部ながらも学会誌の企画・編集作業を理解することができ、貴重な経験をさせていただいていると思っています。

今夏は、自分が子どもの頃からですので「早、30年振り」かも知れませんが、海に泊まりがけで出かけました。なぜか学生時代は専ら山に行くことにしか、興味が湧きませんでした。その山行きもこのところ足が遠のいています。海

に行ったのは、家族の希望からでしたが、海行きを大変楽しみにしている自分に気づき、少し驚きました。

最近、事を進める上で「緊張、集中」と「緩和、開放」を少し意識するようになりました。学生時代は、闇雲に進もうとすることしか考えられませんでした。少し「斜め」から見ると時間をとって事にあたるようにしています。山行きを「緊張」と捉えるなら、海行きはさながら「緩和」か「開放」かと、思います。私自身を海に向かわせたのは、そういった心境の変化からかも知れません。余裕を持って事を考えたいというのは、最近の我々を取り巻く厳しい研究環境が少なからず影響していると思いますが、単なる現実逃避の要素も多分にあり、結局、いつもその場しのぎで事を済ませてしまっています。この原稿も締切日になって真っ黒に日焼けした手で書き出しています。理想とする取り組み方を模索する日々は、まだまだ続くようです。

(出射 浩)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	本島 修	副会長	小川 雄一	藤山 寛	常務理事	中村 幸男 (総務委員長)
理 事	疇地 宏 (企画委員長)		板垣 正文 (広告委員長)		伊藤 早苗	
	上杉 喜彦		斧 高一		加藤 敬	
	近藤 光昇 (財務委員長)		坂本 慶司 (広報委員長)		笹尾眞實子 (プログラム委員長)	
	寺井 隆幸		永津 雅章		林 康明 (出版委員長)	
	堀池 寛		山崎 耕造 (編集委員長)			
監 事	飯尾 俊二		松尾 慶一			

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディター 山崎耕造(名大)

エディター 関子秀樹(九大), 田中雅慶(九大), 福山 淳(京大), 村上匡且(阪大), 室賀健夫(核融合研)

編集委員 秋山毅志(核融合研), 市来龍大(大分大), 出射 浩(九大), 大原 渡(山口大), 神谷健作(原子力機構), 片山一成(九大), 假家 強(筑波大), 菊池崇志(長岡技科大), 熊谷 晃(東京エレクトロンAT<sup>®</sup>), 後藤拓也(核融合研), 小林進二(京大エネ理研), 近藤正聡(核融合研), 三瓶明希夫(京都工繊大), 四竈泰一(京大), 柴垣寛治(鈴鹿高専), 曾我之泰(金沢大), 高橋幸司(原子力機構), 田代真一(阪大接合研), 中村龍史(原子力機構), 原 正憲(富山大), 東口武史(宇都宮大), 藤岡慎介(阪大レーザー研), 前原常弘(愛媛大), 三浦英昭(核融合研), 三宅弘晃(東京都市大), 宮本光貴(島根大), 吉沼幹朗(核融合研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛て送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第86巻第9号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階  
社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会  
Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

印刷 株式会社荒川印刷  
2010年(平成22年)9月25日

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,365円(本体1,300円)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は(社)プラズマ・核融合学会が所有しています。

編集委員会開催日について 当学会誌の編集委員会は原則として、毎月第1火曜日に開かれています。但し、都合により変更になる場合があります。